

下記書籍におきまして「出典」が記載されていない箇所がございます。
以下のとおり記載させて戴くとともに、関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

(2011年1月27日 メジカルビュー社編集部)

『作業療法士 グリーン・ノート 専門編』(2008年12月10日 第1版第1刷)

【引用・改変引用】

頁	図表	出典
14	図1	柳澤 健 編: 理学療法士・作業療法士ブルーノート 基礎編, p.66, メジカルビュー社, 2005.より引用
14	図3	椎名喜美子ほか: 神経麻痺の作業療法, OS NOW No.3, メジカルビュー社, 1991.より引用
16	表1	Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery 著, 津山直一 ほか訳: 新・徒手筋力検査法, 原著第8版, p.21, 48, 68, 85, 99, 111, 図117, 132, 150, 174, 208, 222, 243, 協同医書出版社, 2008.より改変引用
18	図1	平山恵造 著: 神経症候学, p.726, 文光堂, 1971.より改変引用
20	図1	中田真由美・岩崎テル子 著: 知覚をみる・いかに一手の知覚再教育, p.51,55,59,63,66,69,73,74, 協同医書出版社, 2003.より引用
20	表1	中田真由美: 手の知覚障害に対する評価とそのアプローチ, OTジャーナル, 24: 491, 1990. より引用
46	図1	石合純夫 著: 高次脳機能障害学, p.90, 139, 医歯薬出版, 2003.より改変引用
48	図1	石合純夫 著: 高次脳機能障害学, p.58, 67, 医歯薬出版, 2003.より改変引用
54	図1	石合純夫 著: 高次脳機能障害学, p.69, 73, 77, 医歯薬出版, 2003.より改変引用
56	図1	石合純夫 著: 高次脳機能障害学, p.10, 39, 40-41, 医歯薬出版, 2003.より改変引用
60	表1	土肥 豊 編: 片麻痺における心疾患の合併と治療上のリスク, 理学療法と作業療法, 5: 428-441, 1971.より引用
80	表1	中田真由美 ほか著: 作業療法士のためのハンドセラピー入門, 第2版, 表5-1, p.96, 三輪書店, 2006.より引用
116	表2	田村良子 編: 作業療法学会全書第6巻 作業療法学3 発達障害, 協同医書出版社, 2010.より引用
120	図1	吉川和男: 司法精神医学と医療観察制度-その意義と課題-, OTジャーナル, 41: 180-187, 2007.より引用
120	表1	精神・神経科学振興財団 編: 平成17年度司法精神医療等人材養成研修会ガイドライン教材集, 精神・神経科学振興財団, 2005.より引用
142	表1	ICD-10より引用
156	図1	R.P.Erhardt 著, 紀伊克昌 訳: 手の発達機能障害, p.56-59, 医歯薬出版, 1988.より引用

【参考文献】

■2章 作業療法評価学

- 1) 千住秀明 監修: 理学療法評価法 第2版, 神陵文庫, 2005.
- 2) 杉岡 宏 著: 腕神経叢損傷の診断と治療, 57: 5, 日整会誌, 1983.
- 3) 石川 齊・古川 宏 編: 図解 作業療法技術ガイド, 第2版, 文光堂, 1998.
- 4) 遠城寺 宗徳 著: 遠城寺式・乳幼児分析的発達検査法 解説書, 慶應義塾大学出版会, 1977.
- 5) 津守 真・稲毛教子 著: 増補 乳幼児精神発達診断法 0才～3才まで, 大日本図書, 1961.
- 6) 津守 真・稲毛教子 著: 増補 乳幼児精神発達診断法 3才～7才まで, 大日本図書, 1965.
- 7) 生澤雅夫 ほか編著: 新版K式発達検査法2001年版 標準化資料と実施法, ナカニシヤ出版, 2008.
- 8) W.K.Frankenburger, 上田礼子 著: 日本版デンバー式発達スクリーニング検査 増補版, 医歯薬出版, 1980.
- 9) 大村政男 ほか編: KIDS乳幼児発達スケール手引, 発達科学研究教育センター, 1991.
- 10) 杉原一昭・杉原 隆 監修: 田中ビネー知能検査V 理論マニュアル, 田研出版, 1998.
- 11) David Wechsler 著, 日本心理適正研究所 編: WPPSI知能診断検査, 日本文化科学社, 1998.
- 12) David Wechsler 著, 日本版WISC-III刊行委員会 編: 日本版WISC-III 知能検査, 日本文化科学社, 1998.
- 13) 小林重雄 著: DAMグッドイナフ人物画知能検査ハンドブック, 三京房, 1997.
- 14) A. S. Kaufman・N.L. Kaufman 著, 松原達哉 ほか編: 個別式心理教育アセスメントバッテリー「日本版K-ABC」解釈マニュアル, 丸善出版, 1993.
- 15) Marianne Frostig 著, 飯鉢和子 ほか編: フロスティグ視知覚発達検査 実施要項と採点法手引, 日本文化科学社.
- 16) S.A. Kirk ほか著, 上野一彦 ほか編: ITPA言語学習能力診断検査手引, 日本文化科学社.
- 17) 城戸正明: Milani-Comparettiの運動発達評価法, 理学療法と作業療法, 11(3): 161-169, 1977.
- 18) 里宇明元 ほか: こどものための機能的自立度評価法, 総合リハ, 21(11): 963-966, 1993.
- 19) 朝田 隆 ほか著: 精神疾患の理解と精神科作業療法, 中央法規出版, 2005.

■3章 作業療法治療学

- 1) 岩崎テル子 ほか編: 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学, 医学書院, 2005.
- 2) 津山直一 ほか著: 標準リハビリテーション医学, 第2版, 医学書院, 2000.
- 3) 中村隆一 監修, 佐直信彦・鈴木堅二 ほか編: 入門リハビリテーション医学 2版, 医歯薬出版, 1998.
- 4) 福井園彦 ほか著: 脳卒中最前線, 第3版, 医歯薬出版, 2003.
- 5) 第36-40回 理学療法士・作業療法士 国家試験問題 解答と解説 2006, 医歯薬出版, 2005.
- 6) 第40-44回 理学療法士・作業療法士 国家試験問題 解答と解説 2010, 医歯薬出版, 2009.
- 7) 鷲田孝保 編: 作業療法士 イエロー・ノート 専門編, メジカルビュー社, 2007.
- 8) 久野貞子: 予後からみたPARKINSON病, Clin Neuroscience, 3(12): 1328-1330, 1985.
- 9) 柳澤 健 編: 理学療法士グリーン・ノート 専門編, メジカルビュー社, 2007.
- 10) 太田保之・上野武治 編: 学生のための精神医学, 第2版, 医歯薬出版, 2006.
- 11) 朝田 隆 ほか著: 精神疾患の理解と精神科作業療法, 中央法規出版, 2005.
- 12) 新福尚武 著: 新精神医学, 改訂第16版, 医学出版社, 1975.
- 13) 秋元波留夫 ほか編: 神経精神医学, 改訂第2版, 創造出版, 1998.
- 14) American Psychiatric Association 原著, 高橋 三郎 ほか訳: DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引, 医学書院, 2000.
- 15) 香山明美 ほか編: 生活を支援する精神障害作業療法 急性期から地域実践まで, 医歯薬出版, 2008.
- 16) 松家 豊・野島元雄: プロジェクトIII-B 臨床病態の解析「運動機能」, 筋ジストロフィー症の疫学, 臨床および治療に関する研究報告書, 1983.
- 17) 柳澤 健 編: 理学療法士 イエロー・ノート 専門編, メジカルビュー社, 2005.

■4章 地域作業療法学

- 1) 日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会 監修: 義肢装具のチェックポイント 第6版, 医学書院, 2003.